

各関係機関長 様

熊本県病虫害防除所長

病虫害発生予察注意報について（送付）

このことについて、令和3年度（2021年度）病虫害発生予察注意報第5号を公表しましたので、送付します。

## 注 意 報

令和3年度（2021年度）病虫害発生予察注意報第5号

農作物名 茶  
病虫害名 カンザワハダニ

- 1 発生地域 県内全域
- 2 発生時期 3月中旬以降
- 3 発生程度 平年比 多

### 4 注意報発表の根拠

- (1) 本年3月上旬に実施した巡回調査では、寄生葉率11.5%（平年2.4%、前年2.5%）、10葉当たり寄生頭数3.3頭（平年0.5頭、前年0.3頭）と、寄生葉率及び10葉当たり寄生頭数ともに過去10年と比較して最も多かった（図1、2、3）。
- (2) 福岡管区気象台が3月17日に発表した九州北部地方1か月予報によると、向こう1か月の気温及び降水量はともに平年並の予想であり、今後もカンザワハダニの増殖に好適な条件が続くことが予想される。

### 5 防除対策

- (1) 茶園の発生状況を確認し、寄生葉率が10%を超えている園では速やかに防除を行う。なお、多発すると密度抑制が難しくなるため、随時、発生状況を観察し防除する。
- (2) 被覆栽培を行う園では、ダニが増殖しやすくなるため、被覆前に発生状況をよく観察し、防除を行う。
- (3) 薬剤散布の際には、すそ部及び樹冠内部の葉裏にもムラなく薬剤が行き渡るように十分な量（400L/10a）を散布する。
- (4) 薬剤抵抗性の発達を防ぐため、系統の異なる薬剤のローテーション使用を行う。
- (5) 農薬を使用する際はラベルをよく確認し、農薬登録内容（使用回数や希釈倍数等）を遵守して使用する。また、近隣のは場へのドリフトの危険性を確認し、天敵への影響を最小限に抑えるため、選択性の高い農薬の使用を心掛ける。ミツバチや魚介類等、周辺動植物や環境に影響が無いよう、飛散防止を徹底し、危害防止に努める。

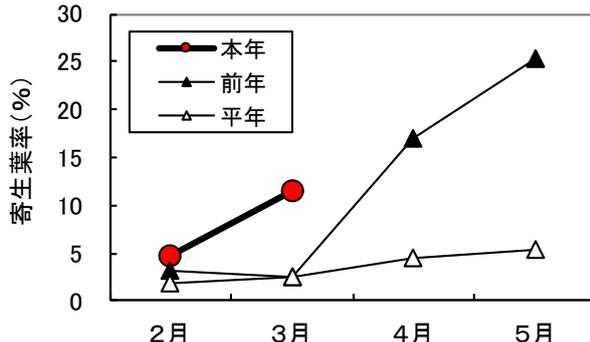


図1 カンザワハダニの寄生葉率の推移  
※平年値は過去10か年平均

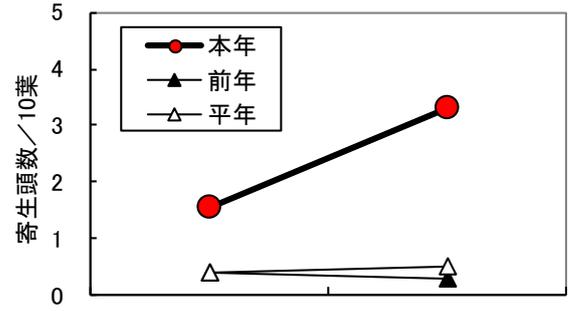


図2 カンザワハダニの寄生頭数の推移  
※平年値は過去10か年平均

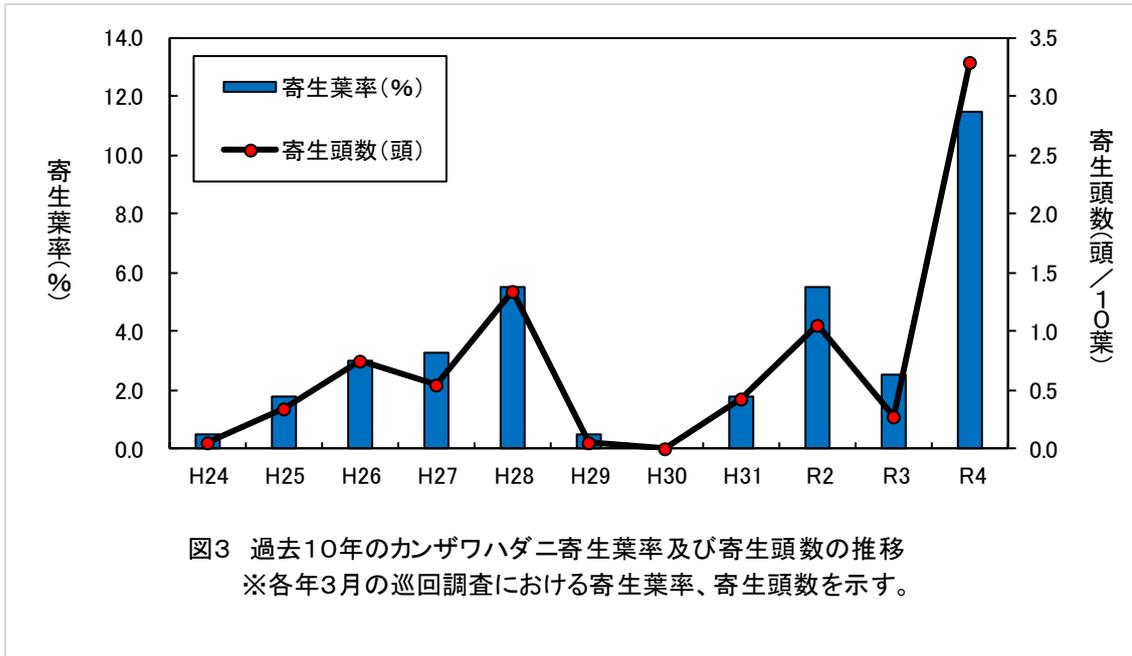


図3 過去10年のカンザワハダニ寄生葉率及び寄生頭数の推移  
※各年3月の巡回調査における寄生葉率、寄生頭数を示す。



写真1 カンザワハダニ  
(体長約 0.5mm)



写真2 一番茶の被害 (新葉の黄化・褐変)

熊本県病害虫防除所  
(農業研究センター生産環境研究所 予察指導室)  
担当：岡島、作本 TEL：096-248-6490